

校内での「暑さ」対策について

今年も異常な（危険な）暑さがやってきました。

昨年度の校長室だより第26号 <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/weblog/files/1320122/doc/61633/364217.pdf>にてレポートをした通り、学校のエアコンはGHP（ガスヒートポンプ）空調が導入されています。ガスエンジンで稼働する空調機器です。

すでにご存知の方もいらっしゃると思いますが、「災害に強い」「節電になる」ことが主な特徴です。しかしながら、メリットだけでなくデメリットもあります。

GHPは「暖房に強い」といわれる通り、学校などの施設で猛暑となった場合に・・・「冷房の効きが・・・」となることがよくあります。

特に本校のような旧式の校舎の場合、上層階に上がるほど・・・毎年4階（1年生）が厳しい状況になっています。

現在、4階に大型扇風機や冷風機、そして今年はサーキュレーターを数台設置して対応しています。昨年度より涼しくなっておりますが・・・



写真上左：4階は扉を外して空気循環。写真上中：本年度よりサーキュレーターも。写真上右：大型扇風機も。写真左：大型冷風機も稼働しています。

もうすでに「うちわ」、「扇子」、「小型扇風機」、「冷感タオル」等の避暑グッズがあれば各自持参している人も多いと思いますが、授業に支障の無いように「涼」をとってほしいと思います。

これだけ暑くなると、水分の補給も重要なポイントになります。水筒も忘れずに、校内の冷水器等を上手く活用してください。

さらに、「日傘」等も重要なアイテムになると思いますので登下校時に上手く活用してほしいと思います。

できる限り快適に学校生活を過ごせるように・・・

工夫していきたいと思っております